

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社グローアップ
所在地	東京都新宿区市谷仲之町 4-28 TRUST VALUE 市ヶ谷 501
業種	(R) サービス業（他に分類されないもの）
常用労働者数	13 人
事業内容	人材紹介業、人材派遣業
ホームページ	https://recruit-growup.co.jp/
1 ニーズ調査	
① 実施日	2025 年 8 月 29 日
②方法	アンケート調査票を都内に勤務する全従業員にメール送付
③回収率	対象者（都内勤務全従業員） 9 名のうち回収数 9 名 回収率 100%（回収数／対象者）
④調査結果 概要	（調査により明らかになった課題） ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 現在、介護に直接関わっている従業員はいない。しかし、介護経験者がいないため、社内に介護に関する実践的な知識や経験の蓄積がなく、いざ介護に直面した際に手本となる従業員がいない状況である。 ・今後の従業員の介護見込みについて 全従業員（9 名）のうち 11%（1 名）が「今後 5 年以内に介護をする可能性が少しある」と回答しており、介護が近い将来の課題となりうる従業員が存在する。また、その従業員は自身が主に介護を担うと考えている。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 勤務先の介護支援制度について、全従業員（100%）が「制度があるかどうか知らない」と回答している。これは、社内の両立支援制度が全く認知されておらず、制度が実質的に機能していない状態であることを示している。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 将来介護の可能性のある従業員は、介護に対して「非常に不安を感じる」と回答している。その不安の具体的な内容として、以下の 3 点が挙げられている。 1. 公的介護保険制度の仕組みがわからない 2. 勤務先の介護支援制度がない、もしくはわからない 3. 仕事を辞めずに介護と仕事を両立するための仕組みがわからない ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 全従業員が、介護が必要になった場合の望ましい働き方として「休業制度を利用して復帰する（56%）」または「支援制度を利用しつつ働き続ける（33%）」と考えており、約 9 割が「仕事を継続すること」を望んでいる。 しかし、現状では会社の支援制度が全く認知されていないため、従業員が望む働き方を実現するための制度的基盤が整っておらず、介護を理由とした離職のリスクが高い状態にある。
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
① 設置日	令和 7 年 9 月 10 日
②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名） （メンバー内訳）代表取締役、総務部

③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月10日	9:00～10:00	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	9月10日	10:00～11:00	調査結果概要説明、取組案の提示	2名
	9月10日	11:00～12:00	取組案について意見交換、確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和7年11月～ 定期的な個人面談の実施（年2回程度）				
令和7年12月～ 介護と仕事の両立に関する研修の実施（年2回程度）				
4 経営者・管理職への体験型研修の実施				
有り・無し（いずれかに○）				